

年末年始の業務のお知らせ

市役所などの公共施設について、年末年始の営業時間などをお知らせします。毎年、年末には窓口などが大変混雑しますので、ご用のある場合は早めにお済ませください。また、平成27年1月5日(月)からは、現本庁舎および教育委員会は、仮設庁舎で業務を行います。

年末年始のごみ収集業務のお知らせ

詳しくは☑リサイクル推進課

区分	JR 高崎線の東側地区		JR 高崎線の西側地区		●12月31日～平成27年1月2日までの期間は、収集業務はお休みとなります。 ●ごみは計画的に出し、年末年始に集中しないようにご協力をお願いします。 ●ごみを出す前に分別表をよく見て、決められた日にだしてください。
	本年の最終日	翌年の初日	本年の最終日	翌年の初日	
燃やせるごみ	12月29日(月)	1月4日(日)	12月30日(火)	1月5日(月)	
プラスチック	12月30日(火)	1月5日(月)	12月29日(月)	1月8日(木)	
金属・ガラス・乾電池	12月26日(金)	1月16日(金)	12月22日(月)	1月6日(火)	
その他ごみ	12月10日(水)	1月7日(水)	12月15日(月)	1月19日(月)	
紙製の容器と包装紙	12月19日(金)	1月9日(金)	12月17日(水)	1月13日(火)	
古着・新聞紙・雑誌・ダンボール・紙パック	12月20日(土)	1月3日(土)	12月27日(土)	1月10日(土)	

12月のごみ収集日程表

※ごみは朝8時までに出示しましょう。雨天の場合は、古着の排出は控えてください。
※買い物はマイバッグを使用しましょう。 ※レジ袋はごみ袋として使用できません。

	燃やせるごみ	プラスチック	金属・ガラス・乾電池	その他ごみ	紙製の容器と包装紙	古着・新聞紙・雑誌・ダンボール・紙パック
高崎線東側	1・4・8・11・15・18・22・25・29	2・9・16・24・30	12・26	10	5・19	6・20
高崎線西側	2・5・9・12・16・19・24・26・30	4・11・18・25・29	8・22	15	3・17	13・27

※年末の環境センターのごみの搬入は、12月26日(金)までです。(12月27日(土)午前8時30分～11時30分は、粗大ごみ(有料)のみ受け入れを行っています。)

年末年始のし尿の汲み取り

し尿の汲み取りについては、年内は12月26日(金)まで行い、年明けは、1月5日(月)から平常どおり行います。

※年内に臨時的な汲み取りが必要な家庭は、12月26日(金)までに、市の委託業者である青木清掃㈱ ☎775-1551へ直接連絡してください。

サン・アリーナ 一部利用開始のお知らせ

サン・アリーナでは、改修工事が終了した一部施設の利用を12月から開始します。
改修工事期間▶平成27年2月28日(土)まで
12月から利用できる施設▶柔道場、剣道場、弓道場、卓球場、トレーニング室、サブアリーナ、会議室
※メインアリーナ・研修室は、改修工事終了まで利用できません。
詳しくは☑スポーツ振興課または施設管理公社 ☎787-5111

サン・アリーナ トレーニング室からのお知らせ

12月からの開館にあたり、トレーニング室の定期利用料金を期間限定で割り引きします。また、土日の新しい教室も始まります。これを機会に運動を生活の一部にしましょう！

割引定期利用券販売期間▶12月1日(火)～23日(火・祝)

定期利用料金額(市内・大人)▶

利用単位	現行料金	割引後料金
1時間	1,600円	1,000円
2時間	2,800円	2,000円
3時間	3,500円	2,500円



問合せ☑施設管理公社 ☎787-5111

年末年始の施設の休業日

施設名	休業日・休館日	問合せ
市役所	12月27日(土)～平成27年1月4日(日) ※12月27日(土)の土曜開庁は実施しません。	総務課 ☎786-3211
公民館	12月29日(月)～平成27年1月3日(土) ※予約・申請などの受付業務は、12月27日(土)～平成27年1月5日(月)まで休業です。平成27年3月27日(金)～4月5日(日)分の予約は、1月6日(火)からです。	桶川公民館 ☎772-3888
市立図書館 駅西口図書館 市立図書館川田谷分室	12月28日(日)～平成27年1月4日(日) ※本の返却は、ブックポストをご利用ください。ただし、CDの返却は、直接窓口へお願いします。 ※1月5日(月)は市立図書館と川田谷分室は休館となります。	市立図書館 ☎771-0303 駅西口図書館 ☎786-6353
歴史民俗資料館	12月27日(土)～平成27年1月5日(月)	歴史民俗資料館 ☎786-4030
サン・アリーナ 総合運動場 舎人スポーツ・パーク 新小針領家グラウンド (A面・B面)	12月29日(月)～平成27年1月3日(土) ※受け付けも休業となりますので早めの手続きにご協力をお願いします。 なお、平成27年3月29日(日)～31日(火)分の予約受付開始日は12月28日(日)、平成27年4月1日(水)～3日(金)分の予約受付開始日は平成27年1月4日(日)となります。	施設管理公社 (サン・アリーナ内) ☎787-5111 舎人スポーツ・パーク ☎728-7510
勤労青少年ホーム (さくらフレンド) 勤労福祉会館	12月29日(月)～平成27年1月3日(土)	勤労青少年ホーム ☎728-3393 勤労福祉会館 ☎773-1122
老人福祉センター	12月28日(日)～平成27年1月3日(土)	老人福祉センター ☎728-1122
市民活動サポートセンター	12月29日(月)～平成27年1月3日(土)	市民活動サポートセンター ☎786-2400
市民ホール さいたま文学館		市民ホール ☎789-1113
べに花ふるさと館		べに花ふるさと館 ☎729-1611

現本庁舎・教育委員会の仮設庁舎への移転について

新庁舎建設に伴い、現本庁舎と教育委員会は仮設庁舎へ移転します。

●業務のお知らせ

現本庁舎・教育委員会での業務終了日	12月26日(金)まで
仮設庁舎での業務開始日	平成27年1月5日(月)から

●市内循環バス(べに花GO)バス停の名称変更 ※平成27年1月1日(木・祝)から

バス停名称			路線名
現在	変更後	位置	
市役所前	べにばな陸橋下	泉1丁目	西循環、東西循環(内回り・外回り)
分庁舎前	市役所仮設庁舎前	上日出谷	西循環、東西循環(内回り)

仮設庁舎移転作業に伴う駅西口連絡所の業務時間の変更について

12月26日(金)の駅西口連絡所(桶川マイン4階)の業務を、午後5時15分で終了します。

平成25年度 決算

このように使われました

市では、皆さんが納めた税金の使われ方をお知らせするために、毎年7月と12月に財政状況を公表しています。今回は、平成25年度決算の概要と平成26年度上半期（平成26年4月1日～9月30日）の予算執行状況についてお知らせします。

詳しくは財政課

《平成25年度決算の概要》

一般会計

平成25年度の一般会計予算は、当初予算で歳入歳出とも209億8,600万円を計上しましたが、その後8回の補正を行い、最終予算額は214億1,015万6千円となりました。平成24年度から継続している事業費が11億5,096万3千円ありますので、それを加えると、最終的に225億6,111万9千円の予算現額となりました。

この予算に対する決算額は、歳入214億9,665万3千円、歳出207億2,281万2千円で、差し引き7億7,384万1千円の形式収支となり、このうち平成26年度へ継続事業分として繰り越す財源2億252万5千円を差し引き、5億7,131万6千円の実質収支となりました。

特別会計

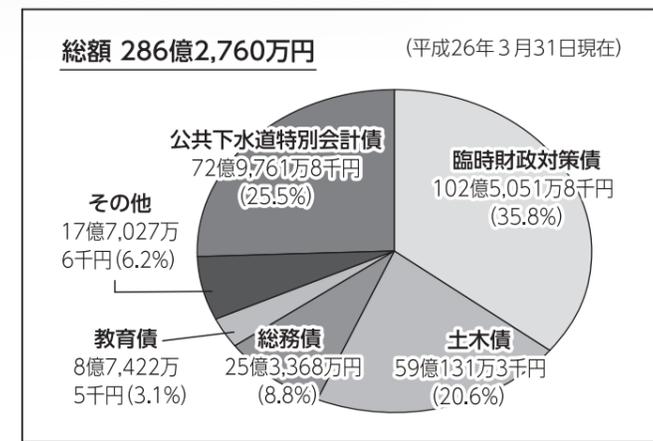
特別会計とは、国民健康保険や公共下水道事業など特定の事業を行うため、一般会計と区分して経理される会計です。四つの特別会計の決算額は歳入15億4,972万3千円、歳出14億1,235万3千円であり、差し引き6億3,737万円の形式収支となりました。会計別の決算状況は、表のとおりです。

特別会計歳入歳出決算

(単位：千円)

区分	予算現額	歳入	歳出	歳入歳出差引
国民健康保険特別会計	8,329,599	8,532,571	8,108,768	423,803
公共下水道事業特別会計	1,884,182	1,788,744	1,732,252	56,492
介護保険特別会計	4,131,065	4,080,266	3,923,863	156,403
後期高齢者医療特別会計	751,325	748,142	747,470	672
合計	15,096,171	15,149,723	14,512,353	637,370

地方債(未償還元金)現在高



公有財産

(平成26年3月31日現在)

区分	土地 (㎡)	建物 (㎡)
庁舎	4,191.96	3,253.45
その他の公用財産	消防施設	1,242.80
	その他の施設	14,378.02
公共用財産	学校	253,930.03
	公園	215,147.71
	その他の施設	221,151.48
普通財産	165,237.44	1,281.70
合計	875,279.44	134,591.10

財政の健全化判断比率および資金不足比率を公表します

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、平成25年度決算に基づき算定された財政の健全化判断比率および資金不足比率について、次のとおりお知らせします。

※実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は、赤字額や資金不足額が生じない場合は数値ではなく、「－」で表示されます。

1. 健全化判断比率

区分	桶川市	⑥早期健全化基準	⑦財政再生基準
①実質赤字比率	－	12.92%	20.0%
②連結実質赤字比率	－	17.92%	30.0%
③実質公債費比率	5.9%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	18.3%	350.0%	—

2. 資金不足比率 (公営企業会計)

区分	会計名	桶川市	⑧経営健全化基準
⑤資金不足比率	公共下水道事業特別会計	－	20.0%

用語の説明

①実質赤字比率
一般会計（主に税金を活用して行う福祉、道路、教育などの事業）における赤字の大きさを示しています。黒字の場合は、「－」で表示します。

②連結実質赤字比率
市全体の赤字の大きさを示しています。黒字の場合は、「－」で表示します。市全体の財政状況を判断することが出来ます。

③実質公債費比率
市全体の借入金などの今年の返済額の大きさを示しています。家計に例えると、収入のうち借金の返済にどの程度充てているかを表すものです。

④将来負担比率
借入金の残高など今後支払わなければならないものの大きさを示しています。家計に例えると、借金などの負債が標準的な年収の何年分あるのかを表しています。

⑤資金不足比率
公営企業（桶川市は、公共下水道事業特別会計が該当します。）の資金不足額の事業規模に対する比率です。資金不足がない場合は、「－」で表示します。

⑥早期健全化基準
財政状態として注意が必要な基準。健全化判断比率の1つでも早期健全化基準を上回ると、議会の議決を経て財政健全化計画の策定が義務付けられます。

⑦財政再生基準
市としての再生が必要な基準。財政再生基準を上回ると、議会の議決を経て財政再生計画の策定が義務付けられます。

⑧経営健全化基準
早期健全化基準に相当するもので、公営企業の資金不足比率がこの基準を上回ると、経営健全化計画の策定が義務付けられます。

一般会計歳入決算

区分	決算額 (千円)
市税	10,022,615
国庫支出金	3,165,836
市債	2,553,592
地方交付税	1,907,222
県支出金	1,085,798
地方消費税交付金	606,741
諸収入	425,964
繰越金	409,037
繰入金	370,846
使用料及び手数料	217,427
分担金及び負担金	216,444
地方譲与税	164,811
財産収入	81,739
株式等譲渡所得割交付金	68,802
自動車取得税交付金	65,003
地方特例交付金	60,277
配当割交付金	41,925
利子割交付金	19,831
交通安全対策特別交付金	11,961
寄附金	782
合計	21,496,653

歳入

内訳は、表のとおりです。歳入のトップは市税で、歳入全体の約46%を占めています。以下、国庫支出金（国が市町村に使いみちを特定して、負担金、補助金などの名称で交付する）、市債（ある仕事をするために市町村がする借金で、返済が複数年度のもの）、地方交付税（国税のうち所得税、法人税、酒税、消費税およびたばこ税のそれぞれ一定割合額を国が交付する）、県支出金（県が市町村に使いみちを特定して、負担金、補助金などの名称で交付する）となっています。

一般会計における市民の税負担状況

平成26年3月31日現在人口 75,244人

※上段は収入総額、下段は市民1人あたりの負担額

市税	市民税	固定資産税	軽自動車税
10,022,615千円 133,202円	4,782,617千円 63,561円	3,973,568千円 52,809円	88,501千円 1,176円
	市たばこ税	都市計画税	特別土地保有税
	483,519千円 6,426円	694,410千円 9,229円	0千円 0円

都市計画税は、都市計画事業などの費用に充てることを目的とした市税で、市街化区域内の土地・家屋に対して課税されています。平成25年度は、市内で実施されている都市計画道路整備事業、土地区画整理事業、公共下水道整備事業などに使われました。

一般会計歳出決算

区分	決算額 (千円)	市民1人あたりに使われた額(円)	区分	決算額 (千円)	市民1人あたりに使われた額(円)
民生費	7,967,500	105,889	議会費	212,159	2,820
総務費	3,207,922	42,634	労働費	108,614	1,443
土木費	2,525,603	33,566	商工費	108,022	1,436
公債費	2,081,832	27,668	農林水産業費	81,009	1,077
教育費	1,915,841	25,462	災害復旧費	16,984	226
衛生費	1,529,453	20,327	合計	20,722,812	275,408
消防費	967,873	12,863			

歳出

内訳は、表のとおりです。左欄は支出総額、右欄は市民1人あたりの金額。歳出のトップは、民生費（社会保障や児童福祉などの経費）、次に、総務費（コミュニティ推進、市民安全対策などに関する経費）や土木費（道路、土地区画整理や公園などの都市基盤整備を行うための経費）となっています。

バランスシートを作成しました

市では、平成25年度の決算に基づき、これまでの市の行政活動によってどれだけの資産（道路や学校などの施設や土地等）を形成し、今後どれだけの債務（借金など）を負担していかなければならないのかを表したバランスシート（貸借対照表）を作成しました。

対象としたのは、平成25年度の普通会計であり、国民健康保険や下水道など特定の収入で特定の支出を賄う特別会計を除いています。

作成基準日は、平成25年度会計の末日である平成26年3月31日とし、左側には市が所有している資産を、右側には市が将来返済すべき負債をそれぞれ記入し、その差額（資産－負債）を純資産として、負債の下に記載しています。

バランスシート（平成26年3月31日現在）人口75,244人（単位：千円）

資産（将来の世代に残る財産）			負債（将来の世代が負担する債務で、今後支払いが見込まれる金額）		
	残高	市民一人あたり残高（円）		残高	市民一人あたり残高（円）
1. 公共資産			1. 固定負債		
(1)生活インフラ	35,512,904	471,970	(1)地方債	19,396,300	257,779
(2)教育	21,549,948	286,401	(2)長期未払金	734,323	9,759
(3)福祉	1,965,727	26,125	(3)退職給与引当金	3,118,175	41,441
(4)環境衛生	2,205,449	29,311	固定負債合計	23,248,798	308,979
(5)産業振興	1,782,791	23,693	2. 流動負債		
(6)消防	327,695	4,355	(1)翌年度償還予定地方債	1,933,712	25,699
(7)総務	10,538,790	140,062	(2)未払金	17,634	234
(8)その他	2,000	27	(3)賞与引当金	189,337	2,516
公共資産合計	73,885,304	981,943	流動負債合計	2,140,683	28,450
2. 投資等			負債合計		
(1)投資及び出資金	286,194	3,804	25,389,481	337,429	
(2)貸付金	1,735,302	23,062	純資産（資産形成のため調達した資金で、返済の必要がないもの）		
(3)基金等	4,282,502	56,915	1. 国県支出金等	12,612,127	167,616
(4)長期延滞債権	146,550	1,948	2. 一般財源等	45,100,577	599,391
投資等合計	6,450,548	85,728	純資産合計	57,712,704	767,007
3. 流動資産			負債・純資産合計		
(1)現金預金			83,102,185	1,104,436	
①財政調整基金	1,925,974	25,596			
②歳計現金	773,842	10,284			
現金預金計	2,699,816	35,881			
(2)未収金	66,517	884			
流動資産合計	2,766,333	36,765			
資産合計	83,102,185	1,104,436			

道路、学校、公園など建設的な事業に使われたお金の総額です。建物などは減価償却（価値を見直す）をしています。土地は、買った時の価格で計上しています。

けやき文化財団、桶川市施設管理公社など関係団体への出資金や庁舎建設などの特定の目的のために積み立てている資金です。

現金などのほか、必要ならすぐに現金化できる基金や市税など市に収めてもらうお金のうちまだ収入されていないものです。

これまでに道路や公園、学校などを建設するための財源として、市が国や銀行などから借りているお金の残高です。

年度末に在職する職員が全員退職（年度末に実際に退職した職員を除く）した場合の退職金の推計値です。

これまでに道路や公園、学校などを建設するために使ったお金のうち、国や県から補助金としてもらったものや、税金などのお金の総額です。

注）数値は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しないことがあります。

バランスシートの概要

○ 総括

「資産」は、約831億円で、これに対応するものとして将来返済が必要な「負債」が約254億円、返済を要しない「純資産」が約577億円となっています。「資産」に対する割合は「負債」が約3割、「純資産」が約7割となっています。学校や道路などの社会資本を現在までの世代が負担している割合が約7割ということになります。

○ 資産

これまでに市が取得・整備してきた土地や施設、現金や預金などの資産の状況を表しています。これは、市民の財産として将来にわたって行政サービスを提供するものです。

○ 負債

将来にわたって返済しなければならぬ地方債（市の借金）などの負債を表しています。負債は、平成27年度以降に支払う固定負債と平成26年度に支払わなければならない流動負債を合せて約254億円となっています。

○ 純資産

資産を形成するために調達した資金のうち、これまでに皆さんが負担し、将来返済の必要がないお金を表しています。国や県などからの補助金である国県支出金等と、市民の皆さんが納めた税金などの一般財源等に分類しています。

注）このバランスシートは「総務省方式改訂モデル」に基づき作成しました。

平成26年度 上半期の 予算執行状況

上半期には、小・中学校エアコン整備事業、(仮称)道の駅おかげがわ整備推進事業、西側大通り線整備事業、福祉3医療費窓口払い廃止など、さまざまな事業を展開してまいります。

◎平成26年度上半期一般会計歳入状況

区 分	予算現額(千円)	上半期収入済額(千円)	収入率(%)
市 税	9,914,666	3,383,069	34.1
地 方 譲 与 税	175,000	44,692	25.5
利 子 割 交 付 金	23,000	8,713	37.9
配 当 割 交 付 金	50,000	11,986	24.0
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	8,000	0	0.0
地 方 消 費 税 交 付 金	677,000	403,833	59.7
自 動 車 取 得 税 交 付 金	32,000	10,139	31.7
地 方 特 例 交 付 金	57,516	57,516	100.0
地 方 交 付 税	1,786,661	1,227,965	68.7
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	12,200	5,117	41.9
分 担 金 及 び 負 担 金	240,759	95,990	39.9
使 用 料 及 び 手 数 料	215,905	131,507	60.9
国 庫 支 出 金	3,437,531	1,410,166	41.0
県 支 出 金	1,483,574	208,094	14.0
財 産 収 入	35,489	1,797	5.1
寄 附 金	33	1,291	3,912.1
繰 入 金	1,227,459	0	0.0
繰 越 金	488,182	488,182	100.0
諸 収 入	452,754	47,379	10.5
市 債	2,410,633	0	0.0
合 計	22,728,362	7,537,436	33.2

◎平成26年度上半期一般会計歳出状況

区 分	予算現額(千円)	上半期支出済額(千円)	執行率(%)
議 会 費	242,042	118,583	49.0
総 務 費	2,874,823	1,177,400	41.0
民 生 費	8,725,222	3,169,111	36.3
衛 生 費	1,739,747	596,326	34.3
労 働 費	115,207	94,474	82.0
農 林 水 産 業 費	181,119	33,988	18.8
商 工 費	179,495	66,146	36.9
土 木 費	2,959,469	596,484	20.2
消 防 費	994,145	619,384	62.3
教 育 費	2,498,103	853,890	34.2
災 害 復 旧 費	508	506	99.6
公 債 費	2,192,806	1,053,099	48.0
諸 支 出 金	1	0	0.0
予 備 費	25,675	0	0.0
合 計	22,728,362	8,379,391	36.9

◎平成26年度上半期特別会計歳入歳出状況

会 計 名	予算現額(千円)	収入済額(千円)	収入率(%)	支出済額(千円)	執行率(%)
国民健康保険特別会計	8,530,963	3,229,011	37.9	3,720,772	43.6
公共下水道事業特別会計	1,932,318	325,390	16.8	631,732	32.7
介護保険特別会計	4,608,106	1,768,069	38.4	1,793,637	38.9
後期高齢者医療特別会計	822,235	257,396	31.3	246,921	30.0
合 計	15,893,622	5,579,866	35.1	6,393,062	40.2